

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月29日

事業所名 多機能型事業所 Uru

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		・広さ的には十分であるが、ボール遊びや体を動かす活動において工夫が必要である。とのご意見をいただきました。柱がある為保護カバーを検討いたします。また、体を動かす運動をする際には公園にいけるよう検討いたします。
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			・身体的に不自由な児童はいないので今は問題ないが、今後検討の余地あり。とのご意見をいただき、必要に応じて階段の昇降機等を検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			・ホームページ等でどこまで公開できているのか自分自身が把握できていない。とのご意見をいただきました。ホームページを新設したことから周知が足りていなかった為際周知を徹底いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		・事業所として第三者とのつながりを私自信が把握できておらず、なんとも言えない。とのご意見をいただきました。現在第三者評価を受けてない為今後検討いたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		・細かく状況を把握できているとは言えない気がする。とのご意見をいただきました。アセスメントツールを再度検討しましたので細かくアセスメントできるよう共有していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・日の利用人数によって活動が難しい事があるので同じような活動になってしまうこともある。とのご意見をいただきました。プログラムが固定化しないよう改善をしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4		・利用児の状況(人数)によっては難しいこともある。とのご意見をいただきました。利用時間等も考慮しながら活動の組み合わせの検討をしていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			研修においてどこまでできているか把握できていない。連携や助言はその都度共有するよう努めている。とのご意見をいただきました。研修へ参加できるように計画の検討をしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4		・自分自身が参加できていない。とのご意見をいただきました。会への参加が事業所では難しく代表者のみの参加となっている現状があります。参加できる機会がありましたらお知らせいたします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1		・相談等の助言は行っているがトレーニング等までできていない。とのご意見をいただきました。現在の所トレーニングを開催する程の時間が確保できておりません。来年度検討いたします。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			・事業所の保護者会はない。参観において交流の場を設けている。とのご意見をいただきました。保護者会は設けておりません。地域の小学校へ通われている方ですので特に設けることは検討しておりません。保護者の交流を目的とした場を設けるように今後検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		・地域住民を招待する程の行事は行っていない。利用時間に限りがある為難しい。とのご意見をいただきました。仰せの通り利用時間に限りがあ為地域住民を障がいするのは難しいが地域のイベントに出向くことはしている為現状維持をいたします。
----	------------------------------------	---	---	--	--

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			・避難訓練は行っているが、送迎時の場合の訓練の実施は難しく実施できていない。マニュアルにて共有は行っている。とのご意見をいただきました。時間や人力的にも送迎時の訓練が難しいが実施できるよう検討いたします。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1			・虐待研修において入社してからはまだない。とのご意見をいただきました。年度途中の入社の方も研修が受けられるよう計画いたします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				・現状として身体拘束する程の利用児はいないが、状況に応じて必要であれば記載や了解を行っていく。仰せの通り現在は身体拘束は必要ないが必要な児童に関しては臨機応変に対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1			・事業所内でのヒヤリハットは共有している。とのご意見をいただきました。書類等を揃えて共有できるようにしていく。